

いわみ 議会だより

6月定例会

- 2 主な議案の概要
- 3 審議結果と賛否
- 4 5議員が町政を^{ただ}質す
- 10 議員報酬を考える
- 11 議会のあり方を考える研修会を開催します
- 12 高齢者健康運動会の参加者にインタビュー

高齢者健康運動会

今年もよーけ
いれたでえ!



デジタル専門人材の活用で 行政DXを推進

ぜひ
岩美町公式LINE
の登録を!!

この登録は
コチラから



6月定例会

6月定例会を、6月10日から12日まで3日間の会期で開きました。
一般会計補正予算など、7議案を原案通り可決・同意しました。また、議員発議案を可決しました。

一般会計補正予算

2億1330万円を増額し、予算総額を82億5130万円としました。

歳出の主なもの

デジタル専門人材派遣事業

122万円

地方創生人材支援制度の一環として国が設けた「デジタル専門人材派遣事業」制度を活用して、町のDX推進の指針となるデジタル活用推進計画の策定をはじめ、様々な分野へのデジタル活用を検討する。

中小企業等特別金融支援事業

478万円増額

急激な経済変動事象の影響を受けた町内事業者の経営の維持及び安定を目的に、県の融資制度「地域経済変動対策資金」を借り入れた事業者に対し、3年間利子額を支援する補助金交付額を増額する。

主な議案の概要

民間宅地造成(橋りょう整備)

助成事業費

1000万円

戸建て住宅用地21区画を整備する計画がある民間事業者から、宅地造成事業に係る経費支援の要望があった。
人口減少が進む中、宅地造成事業は町の移住定住の促進と、快適な住環境の形成に資するものであり、大掛かりな橋りょう工事という特殊事情を勘案し、町に帰属する橋りょうの整備費用の一部を支援する。

町営住宅環境改善事業

982万円

地震による建物火災の半数以上の原因が、電気機器からの出火や、停電復旧後の通電で発生する電気火災となっていることを踏まえ、町営住宅に地震を感じし自動的にブレーカーを遮断して通電を止める「感震ブレーカー」を整備し、地震発生時における建

物の出火及び延焼防止と入居者の安全安心を確保する。

生活困窮世帯等光熱費助成金

255万円

電気・ガス料金など光熱費や米などの食料品を含む様々な商品の物価高が続く中、生活困窮世帯などの生活への影響を緩和するため、光熱費及び物価高騰対策として助成金を支給する。

人事

(敬称略)

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意しました。

任期は7年7月1日から3年です。

杉本 守邦 (鳥取市)

5月臨時会の審議結果と賛否の状況

【全員一致で可決、承認した議案】

議 案			
補正	6年度一般会計補正予算（第9号）（専決処分）	条例	税条例の一部改正（専決処分）
	6年度病院事業会計補正予算（第3号）（専決処分）		
その他	損害賠償を定めることについて（専決処分）		国民健康保険税条例の一部改正（専決処分）
	財産の取得について（町営バス）		
	財産の取得について（スクールバス）		国民健康保険税条例の一部改正

6月定例会の審議結果と賛否の状況

【全員一致で可決、同意した議案】

議 案			
補正	7年度一般会計補正予算（第1号）	条例	町立本庄スポーツ施設の設置及び管理に関する条例の廃止
	7年度一般会計補正予算（第2号）		町特別職の職員等で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
その他	財産の取得について（消防ポンプ積載車）	人事	町固定資産評価審査委員会委員の選任の同意
	財産の取得について（小中学校用タブレット端末）	議会	地方財政の充実・強化を求める意見書の提出

請 願 ・ 陳 情 の 審 査 結 果

件 名	結 果	賛否の状況	不採択の理由等
一日も早く選択的夫婦別姓の導入をするよう政府に求める請願 提出者：新日本婦人の会鳥取県本部 会長 岡本 裕子 紹介議員：田中 克美	不採択	(採 択) 田中克美 (不採択) 升井祐子、森田洋子、 田中伸吾、寺垣智章、 宮本純一、川口耕司、 柳 正敏、澤 治樹	国会内、国民においても議論が定まっていない。
裏金問題の徹底説明とパーティー券購入を含む企業・団体献金の禁止を求める陳情 提出者：平和・民主主義・豊かな暮らしをめざす鳥取県の会 (鳥取県革新懇) 代表世話人 村上 俊夫	不採択	(採 択) 田中克美 (不採択) 升井祐子、森田洋子、 田中伸吾、寺垣智章、 宮本純一、川口耕司、 柳 正敏、澤 治樹	政治資金の収支の透明性を高めることが重要で、企業・団体の活動を制限すべきではない。 国民のなかでも議論が煮詰まっていない。
地方財政の充実・強化を求める陳情 提出者：自治労鳥取県本部 執行委員長 三浦 敏樹 外1名	採択 (意見書提出)	全員一致	—

欠席 足立義明議員

本会議の討論

請願・陳情の討論と審査結果

一日も早く選択的夫婦別姓の導入をするよう政府に求める請願

(不採択)

採択 (田中 克美議員)

民法第750条を改正し、婚姻時に夫婦同姓・別姓のいずれをも選択できる選択的夫婦別氏制度の導入を内容とする1996年の法制審議会の答申は、現在においても、社会の実情を踏まえた極めて妥当な内容である。

裏金問題の徹底説明とパーティー券購入を含む企業・団体献金の禁止を求める陳情

(不採択)

採択 (田中 克美議員)

裏金問題は、政治倫理審査会で自身の関与を否定するなど、真相説明は進んでいない。また、「政治とカネ」問題の元には企業・団体献金がある。

これを全面禁止することが、国民の政治に対する信頼を回復する道である。

一般質問

5 議員が^{ただ}町政を質す

一般質問は、議員が自らの調査・研究、住民の声にもとづき、町執行部の方針を質すものです。

結果として「現行の政策変更」や「新規政策を採用」させるなどの効果があります。

【質問のルール】

事前に質問要旨を通告し、議長の許可を得て質問します。

質問時間は1人30分以内（答弁の時間を除く）で、一問一答方式で何度でも質問できます。

6月定例会の一般質問（登壇順）

質問議員	ページ	質問事項（通告書のまま）	
柳 正敏	5	1 これまでの町政運営における成果並びに課題と次期町長選挙に向けての進退を問う	
森田洋子	6	1 岩美病院の今後について 2 少子高齢化による自治会加入の今後の対応は	
寺垣智章	7	1 観光客に対する災害時の対応について 2 子どもへのネグレクト対策について	
升井祐子	8	1 戦後 80 年、小中学生に向け、語り部企画をしては 2 税金等の滞納者への徴収について 3 動物愛護と飼育環境について	
田中克美	9	1 岩美病院の経営赤字と打開の方向について 2 コメ高騰問題について地方から声をあげることについて 3 「あらゆる差別の解消及び人権擁護に関する条例」の廃止と憲法の基本的人権の理解促進について	

- ・議会だよりでは、内容を1議員1ページに要約しています。議会ホームページでは、動画をご覧いただけます。
- ・会議録は、9月頃から議会事務局や議会ホームページでご覧いただけます。
- ・QRコードから各議員の一般質問の動画をご覧いただけます。

次期町長選への進退を問う

柳 正敏議員

熟慮したい

長戸町長



柳 正敏議員

子育て支援策について

柳 現在まで懸命な取り組みを進めているが、少子化の歯止めに至っていない実情をどう分析・検証し、課題をどう捉えているか。

町長 子育て世代のニーズを把握するなかでさまざまな施策を実施してきたが厳しい状況が続いている。

少子化はさまざまな要因が絡みあっている。

まずは婚姻数の低下が大きな課題であるため広域で出会いの機会を創造する取り組みを進めたい。

また、本町の施策をPRし、

若い方が自分の生まれ育った町で子育てをしたいと思っていただけるような取り組みをしたい。



町長さん、いい町にしてね（すくすくひろば）

移住・定住促進について

柳 総合戦略の重点戦略にも掲げ、さまざまに施策を展開しているが、取り組みの成果と今後の課題を問う。

町長 お試し住宅、移住などの相談会、空き家改修支援、Uターン奨励金などさまざまに取り組んできた。

これまでの取り組みを継続するとともに、引き続き町民、

議会とよく意見交換しながら施策を立案していきたい。

空き家対策について

柳 空家への対応は、まちづくりを進める上で、人口減少対策と並んで重要かつ早期解決が求められる問題である。今後の対応をどう考えるか。

町長 空き家バンクによる空家の活用に努めており、また特定空家は除去した経過もある。

空き家を解体する場合の負担軽減措置も用意しており、空き家が増えることがないようPRしていきたい。

岩美病院における医療スタッフ確保について

柳 地域医療を担うためには医療体制の継続・強化が最も重要となる。

スタッフ確保に向けてどのような対応が図られているか。

小谷病院事業管理者 医師に

ついては主に県からの派遣医師を確保するため継続的に県へ働きかけていきたい。

薬剤師については、大阪で採用試験を行ったり奨学金制

度の周知を図って確保に努めている。

看護師については、病院独自の奨学金制度の効果もあり一定数の採用が来ている。離職防止も重要であり、やりがいのある看護現場となるよう取り組みを進めている。

次期町長選挙に向けての進退について

柳 今後も厳しい社会情勢が続くものと予測されるゆえ、現在の町政事情も今後に向けた課題も認識されている現職として、次期町長選挙において町民の審判を受けられることを決意することが果たすべき責任と思う。

町長 町民に申し上げた7年度に取り組むべき課題・施策を力いっぱい進めていきたいと考えている。

次期町長選挙については熟慮したい。

病院を存続させる対策は

森田洋子議員

町民の方からの要望、ニーズを伺いたい
小谷病院事業管理者



森田洋子議員

騰などによる診療報酬の改正も継続して要望したい。

森田 発熱外来休診を知った町民から不安の声を聞いている。

医師の確保の今後は。

森田 岩美病院は地域医療の中核を担い、住民の命と健康を守る重要な役割を果たしている。

近年、さまざまな状況から経営不振が続いている。

物価及び人件費の高騰に対する見解と今後の対応は。

病院事業管理者 前年度に比べて人件費は約8千万円、経費は約4千万円増加しており、今後もこの傾向が続くだろう。

今年度も当然、経費削減に取り組んでいきたい。
国や県に財政的な支援を要望しているが、今後は物価高

森田 安定的に存続させるための対策は。

い。

病院事業管理者 外来や入院の数を増やしたい。

今年度は町民から要望、ニーズを伺う場を設ける。

まずは9地区で開催した

森田 来院困難な人のためのオンライン診療に取り組まな

いか。

病院事業管理者 課題も多いため慎重に検討したい。

少子高齢化による自治会加入の対策は

森田洋子議員

自治会自らメリットをPRすることもある
長戸町長

森田 各自治会において、高齢化と人口減少により機能の低下が進んでいる。

高齢化や移住政策の進展とともに自治会に頼った行政運営が行き詰まりつつある。



岩美病院の薬局

本町は、加入率が全体で8割を超えている。

あとの2割の未加入者への情報提供はどうしているのか。

町長 ホームページや防災無線、ケーブルテレビ、公式のLINEなどで情報提供している。

森田 行政の役割を部分的に担っている自治会は、未加入世帯にどう対処したらよいと考えているか。

町長 防災面では隣近所が安否確認を含めて一番大切な役割を担っていることなど、自治会自らが加入メリットをもつPRすることもある。行政もできることがあれば取り組みたい。

森田 高齢化などによる自治会役員の減少で自治会の負担が増し、担い手の確保が困難になると考える。

今後の行政運営をどう考えているか。

町長 自治会の組織とつまく連携をしながら行政運営を進めたい。

観光客に対する防災対策は

寺垣智章議員

総合的に考える

長戸町長



寺垣智章議員

寺垣 防災無線では外国人観光客に情報が伝わりにくい。災害発生時に多言語放送に対応できるか。

町長 対応はできない。

ネット環境がない状況を想定して、観光パンフレットに明示することや、観光客を安全に避難させるために、観光事業者の皆さんに協力していただきたいと思う。

寺垣 今後、観光客の増加が見込まれるが、観光客に対する災害時の対応は急務であると考えます。

災害発生時にインターネットが使用できないことも考えられるが、観光客に対して避難所などの情報を提供する対策はどうか。

町長 停電時でも72時間対応できる蓄電池を搭載した防災行政無線の屋外子局での避難指示や避難所開設情報、県が各メディアと協定を締結しているラジオでの緊急放送などを使い避難を呼びかける。

しんでもらうため、観光客に対する防災対策をどのように考えていくか。

町長 観光事業者に対する啓発、パンフレットを含めた観光客向けの資料、災害発生時に分かりやすいサインなどを総合的に考えていきたい。



観光客への防災対策は急務（田後地内）

ネグレクト対策の強化を

寺垣智章議員

多様な観点から取り組みたい

大西教育長

寺垣 子どもは保護者以外では学校や保育所の先生方との関わりが多い。

先生方を対象としたネグレクトの研修はあるか。

教育長 対応の中心となる教育相談担当や、生徒指導主任などが、国や県が主催する児童・生徒支援に関する研修や協議会に参加している。

寺垣 ネグレクトの疑いがあつた場合、学校や保育所、教育委員会では情報は共有されているか。

町長 保育所と子ども未来課、学校と教育委員会というそれぞれの機関で共有している。

機関をまたぐ場合は、子ども家庭センターが中心となり、子どもと家庭に関わっていく関係機関同士で共有している。

寺垣 ネグレクトの発見に至った場合、どのように対応するか。

町長 子どもの安全を第一に考えた対応を取っている。

保護者が問題点に気づき、直していく対応が重要と考えており、そのうえで必要があれば子育て支援、福祉、医療サービスにつなげ、状況を改善していきたい。

寺垣 ネグレクトは子どもの人権問題として取り組むべきだと思いがどうか。

教育長 保護者や地域の方に対して研修会を開催するなど、子どもたちの健やかな成長と、人権を守るための対策に多様な観点から取り組んでいきたい。

※ネグレクト
子どもの身の安全な発達に必要なケアを与えないこと。

税金の学習指導の充実を

升井祐子議員

租税教室を実施指導している

大西教育長



升井祐子議員

教育長 例年、鳥取税務署の協力のもと、租税教室という出前授業を実施し、納税の義務について指導している。

升井 税金の滞納者への対応と取り組みを伺う。

長戸町長 督促に応じなければ差押えなどの滞納処分または裁判所への提起を行う。事情により納付できない場合、収納調整会議で対応を協議する。

また、生活困窮であれば、福祉サービスの提供など納付相談を行っている。

升井 制度の無理解も考えられる。

学校で、しっかりと生徒への指導をしていただきたいと思います。と思うがどうか。



税金のはたらきについて学ぶ（岩美北小学校）

動物愛護と飼育マナーの啓発を

升井祐子議員

取り組みを研究する

長戸町長

升井 ある海岸の東屋の天井にツバメが巣を五、六個作っていたが、全部地面に落ちて、中にいたひなが瀕死の状態だった。動物虐待はしてはいけない行いだ。どう対応しているか。

町長 ひなや卵がいると思われるツバメの巣が落とされた。り、落とされたことがある場所には、違法行為であることを明記した掲示を行っている。

同様の事例の発生や予見がされる場合、町のほうに情報提供をいただければ適宜町民

児童生徒に平和の語り部学習を

升井祐子議員

小中学校共に取り組んでいる

大西教育長

升井 戦争の教訓から命の尊さを確認するため、平和の語り部を招いて児童生徒に平和学習の企画をしてはどうか。

教育長 本年度、鳥取県遺族会の語り部学習を小学校は予定している。

中学校は、ウクライナ出身

への啓発も行つてまいりたい。

升井 犬のふんを始末しない飼い主が増えている。本町は、風光明媚な観光地でもある。

飼い主が犬のふんを始末するよう取り組んでいただきたい。

町長 防災行政無線で注意喚起を行っているが、他に取り組みができないか研究をしたい。

の方を招き平和に関する学習を行っている。

自他の命を尊重する態度を養い、平和的な国家社会の形成者として行動できる児童・生徒の育成を目指し、取り組んでいきたい。

診療報酬の見直しが必要だ

田中克美議員

適正に見直してほしい

小谷病院事業管理者



田中克美議員

病院事業管理者 鳥大の地域枠が2名減らされ、これまで以上に医師不足になるのではと危惧している。

田中 物価高騰、消費税の影響は。

田中 受診患者の減少をどう見るか。

病院事業管理者 内科医師数など受け入れ体制の不十分さが要因だ。

田中 人員確保が困難なことはどう見ているか。

病院事業管理者 医師は地域偏在、診療科偏在があり、薬剤師は県内に大学がなく、地域偏在もある。

田中 医師の養成数が少ないという背景があるが。



日々 300 人が頼りにしている大事な病院

田中 一番の収入源の診療報酬に、物価高騰と消費税の負担増が反映されなければ困る。診療報酬の見直しが必要だと思いがどうか。

病院事業管理者 例えば、入院時の食費は診療報酬改定で一食30円引き上げだが、187円の経費上昇で、月100万円の負担増だ。

診療報酬は適正に見直してほしい。今年、三度国に出向き要望しているが、今後に危機感をもっている。

長戸町長 診療報酬の見直しと交付税措置を国に要望した。

県内自治体病院と共通認識をもって取り組みたい。

しじんかん 私人間の差別に限定する条例は廃止を

田中克美議員

私人間に限定したものではない

長戸町長

田中 部落差別に関わる人権相談はゼロだ。「部落差別をはじめとする」という条例の表現は実態に合っていないではないか。

大西教育長 昨今は人権に関する問題が複雑化、多様化し、差別行為が目に見えにくいという課題がある。

あらゆる差別の解消に努めていきたい。

田中 指摘を認めた答弁だ。

差別を解消するために「生活環境の改善」などの施策を推進するという規定も、実態に合っていない。

教育長 SDGsの理念の実現のため、条文で総合的にうたっている。

田中 SDGsとの関連は後付けの理由だ。

条例は、差別する主体を町

民に限定している。行政権力に国民の自由、人権を守らせることに本質がある。

人権問題を私人間の問題にゆがめることになる。廃止すべきだ。

町長 部落差別も現存している。

私人間だけでなく、全ての人の人権が尊重されるまちをめざす精神をつたった条例だ。

そのため条例を全町に周知させていただいた。

田中 おおもとにある憲法の理解をすすめることが大事だ。憲法の読本を配布してはどうか。

町長 憲法の解釈はさまざまだ。

町としては示にくい。

議員報酬を考える

報酬審議会で報酬額を審議

第2回報酬審議会で橋本議長が意見陳述

議会だよりで公表してきた議員報酬額の決め方3つの特徴

①報酬月額案を議会が算定→②町民の声を聞いて再算定→③報酬審議会と意見交換
現在、③の段階を進行中です。

○諮問まで

3月	議会で報酬額（案）を再算定 （29万円→25万9千円に）
4月	報酬審議会の設置・諮問を町長に要請
5月	報酬審議会を設置（公募委員1名含め5名）



○審議会では

第1回	5月27日 塩沢健一鳥取大学教授を会長に選任 議会からの意見陳述書を提出
第2回	6月18日 会議の冒頭で議会からの意見陳述と質疑 （橋本恒議長、田中克美議会活動の在り方検討特別委員会委員長が出席、 橋本議長が意見陳述したあと質疑応答）

※第3回以降の審議会では報酬額等を協議し、答申が出されることとなります。

審議会では報酬の見直しのほかに、議会の見える化、公開、町民との意見交換など引き続き議会改革に取り組むことを望む意見がありました。

議会としては、議会改革の活動を通して、町民と議員の双方が、議会の役割や住民自治の在り方について認識を共有していきたいと考えています。

8月30日の議会のあり方を考える研修会の公開開催は、そうした活動の一環として行うものです。

議会のあり方を考える研修会

全国的に議員のなり手不足が懸念されています。議員のなり手の創出、議会の役割や活動、議員報酬のあり方など、あるべき議会の姿について、講師のお話を聴き、一緒に考えてみましょう。

記

日時：令和7年 **8月30日**（土）

午後1時30分～午後3時30分頃

会場：岩美町中央公民館（2階研修室）

講師：江藤 ^{えとう} 俊昭氏（大正大学教授）

◆研修会のテーマ

「これからの議会活動について」



江藤 俊昭氏（プロフィール）

大正大学地域創生学部公共政策学科教授

1956年東京都生まれ

1979年中央大学法学部卒業

1986年中央大学大学院法学研究科博士後期課程満期退学

博士（政治学：中央大学）

総務省「町村議会のあり方に関する研究会」委員

全国町村議会議長会「報酬等に関する研究会」委員長等を歴任

主な著書：『自治体議会議員が知っておくべき政策財務の基礎知識』

『非常事態・緊急事態と議会・議員』『自治体議会学』

『議員のなり手不足問題の深刻化を乗り越えて』等多数

※事前の参加申込は必要ありません。皆さんぜひご参加ください。

主催：岩美町議会

お問合せ先：議会事務局 電話：0857-73-1612 FAX：0857-73-1677

E-mail：gikai@iwami.gr.jp

吉田保雄氏は6月11日
ご逝去されました。
平成30年7月に初当選
され2期7年岩美町議会
議員に在職されました。
この間、議会運営委員
会副委員長、総務教育常
任委員会副委員長などを
歴任。
斬新な感覚と熱い思い
を持って、議会活動に力
一杯取り組まれ、町政発
展のためご尽力されまし
た。
謹んで、哀悼の意を表
し、ご冥福をお祈り申し
上げます。



岩美町議会議員
故吉田保雄氏（75歳）

高齢者健康運動会に参加された方にお聞きました。

6月17日(火)、「高齢者健康運動会」が行われました。

当日は単位老人クラブの会員のみなさん約140名の方が参加され、レクリエーションを行いながら交流を深められました。参加された方に地域のこと、日頃思っておられることなど、いろいろなご意見・ご感想をいただきました。



羽尾寿楽会
鈴木 栄治さん

大運動会に多くの高齢者が集い、熱いエネルギーを感じましたが、日常生活を送る地域社会の中でも、しっかりとその存在感を示すと共に、過去の経験値を活かして、地域が益々活性化していく一助になればとの想いを抱きました。そして、子供や高齢者にも優しい、自然豊かな町づくりに少しでも貢献できればとの想いを強くしました。

田後は自治会、漁協、漁協女性部が三位一体となって地区の維持発展に努めてきました。各団体とも地区民の信頼を得て鋭意努力を重ねて頑張っておられます。近年、人口減少が著しく、地区民として今後を心配しております。

田後笑和会
井上美千代さん



浦富長楽会
澤 茂さん

健康維持の為、毎日散歩をしています。岩美北小児童と元気に挨拶をかわし、車に気をつけるよう言っています。新入生も自分より大きなランドセルを背負って頑張って通学しています。岩美町、鳥取県、日本、ひいては世界の宝である子ども達を皆で見守って行きたいものです。

友人とウォーキング中に地区の方から老人クラブ入会を勧められました。60代で入会出来るなんて知らなくてピンッとこなくて、友人と相談、せっかく声かけしてもらったのだからと入会。地区のボランティア活動、健康運動会、女性部研修会、地区研修会等参加させて頂き、人の輪と行動範囲が広がり楽しく活動させて頂いています。

小田青々会
田中志保子さん



本庄百寿会
尾下 達夫さん

この度の活動も含め人集めに苦労しています。原因として、会員の高齢化、新規会員の獲得困難が主であることは、自治活動に関するすべての会に共通するものです。一つの解決策として、規模の拡大、小学校区でまとめるのはどうでしょうか！



議会だより調査特別委員会

委員長	橋本 恒
委員	森田 洋子
委員	寺垣 智章
委員	田中 克美
委員	柳 正敏
委員	川口 耕司
委員	田中 伸吾
委員	升井 祐子

〔発行責任者〕

ホタルは、美しい水辺の環境の指標となる生き物です。近年見ることが少なかったホタルが、今年はたくさん飛んでいます。ホタルが多く生息する条件は、気温が20度以上で湿度が高くムシムシするような日とのこと。このところの気候変動と何か関わりがあるのかなあとも思います。いづれにしてもホタルは夏の風物詩、私の心を癒してくれます。ホタルが生息できる美しい環境をこれからも守っていききたいですね。

森田 洋子

編集後記